



森ボラ 通信

第178号 2017年3月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 特別回 (通算5回目) 親子森林教室・森しり隊の活動報告

冬の森で冬芽と足跡を観察し、間伐を見学して焼き芋を頬張る！

2月19日(日曜日)に、「冬の森を探検する」を活動テーマに親子森林教室・森しり隊の特別回を開催しました。この日は自由参加でしたが、森しり隊の子どもたち6名と保護者・協会員21名、総勢27名が冬晴れの澄川の森に集まりました。

いつものように朝礼・ラジオ体操から始まり、先ずはスノーシューを履いて森を歩きながら冬芽と動物の足跡の観察をしました。冬芽は予め用意したキタコブシ、ミズナラ、アカエゾマツ、ホオノキの小枝を手にとって、冬を越すために厚い芽鱗で覆われていること、中には春になると葉や花となる芽が入っていることを説明。子どもたちはいろいろな形、色、大きさの冬芽があることを理解したようです。また、雪の上に残る動物の足跡探しでは、キタキツネやエゾタヌキ、エゾリスの足跡を見つけ、エゾタヌキの巣穴とおぼしき場所も観ました。森は根明け(根開き)が始まっていて、これは太陽と水の力で起こることも説明しました。

9:35~	朝礼・ラジオ体操
9:55~10:30	冬芽・足跡観察
10:30~11:30	間伐見学 樹高・周長測定
11:30~11:50	みんなでまとめ
11:50~13:30	昼食・焼き芋 カンジキ体験
13:30	解散



冬芽の観察

およそ30分後にB2地区の間伐の現場に到着して、実際に直径20cm超のシラカンバとイタヤカエデをチェーンソーで伐ってみせ、切り株を示しながら木の伐り方を説明しました。イタヤカエデは架かり木になりそうだったので子どもたちがロープで引っ張って見事に倒すことができました。近くには枯れて採餌木になった木(カラマツと推定)もあり、子どもたちは不思議そうに開けられた穴を覗いていました。

次は、3月に子どもたち自らが伐採体験する木の樹高と周長の測定をしました。予め確保したイタヤカエデとシナノキの萌芽木の中から、先ず自分が伐りたい木を特定して名前を書き、15m離れた処から観察手帳を使って測った角度から木の高さ(目の高さから木の先端までの高さ)を割り出しました。次に巻尺を使って胸高周長を測り、それぞれ記録して3月に実際に倒した時に測った高さと比較することになっています。



間伐を見学



採餌木を伐採

小屋前広場に戻って今日の活動のまとめをしました。その後、たき火を囲んで昼食をとり、持ち寄ったサツマイモで焼き芋を試みました。出来上がるまで間、子どもたちは夏(7/31)の活動で作ったカンジキを履いて雪上を歩く体験をしまし

た。スノーシューと違って軽いが、紐が直ぐ緩んでしまって歩きにくいとの感想があり、改良の余地があるようです。それでも小屋周辺の雪の坂を滑り降りたり、木に登ったりして冬の森遊びを満喫し、美味しく出来上がった焼き芋を頬張って、13時30分に終了・解散となりました。

今回は3月26日で、いよいよ最終回です。樹液採取と間伐体験、そして保養センター駒岡へ移動して修了式（1年間のまとめ）を行う予定です。（文・清澤）



■ 活動報告

◆ 冬期セミナー 2017.2.15

講師 認定NPO法人 カラカネイトトンボを守る会 小本智幸氏（技術顧問）

『篠路福移湿原のカラカネイトトンボの保護活動』

この団体は、札幌市の北部、石狩川と茨戸川・当別川が交わる周辺地域をフィールドとして、自然環境の保全や啓発活動を行っている団体で1997年に発足した。カラカネイトトンボの生息地を保全しようということで失われつつある都市域における自然保護の課題について話を頂きました。



まずは、カラカネイトトンボについての話です。

体長は2.5cm程でトンボの中でも非常に小さなトンボということで、右の写真の様に胸などが光沢をもった緑色（カラカネ色）に輝いており、生息域が非常に限られ、札幌周辺では篠路福移湿原でしか確認されていないということです。その生息域の篠路福移湿原も平成初期には20haほどあった湿原も現在は5ha程に減少し、湿原の豊かな多様性もカラカネイトトンボをはじめとして危機的な状況となってきているそうです。因みに、石狩川流域には明治30年頃770km²という広大な湿原がありました。これが昭和30年頃には187km²に減少し、現在は僅かに0.6km²と殆ど消えそうな状況になっているとのことです。

近年、世界的に生物多様性を考えて行く必要性が大切であることが謳われています。残り少ない湿原でも保全していくことが大切であると考え、湿原を残すために、植生の増殖・還元活動として、湿原植物の種取り、播種、育苗を行い、湿原への移植などを地域の大人や子供たちと一緒にやって行っているということです。これ以外にも茨戸川の環境整備について高校生の部活と連携して活動を行い、また茨戸川の環境整備やホテルの育成・放流事業や茨戸緑地にある沼の清掃事業を行うなど多面的な活動を地域の住民の方や中学生・高校生を交え、幅広く活動されている話を聞かせて頂きました。この団体の活動の進め方は、私共の今後の活動において非常に参考になる話であったと思います。（文・荻田）

◆ 思い出の間伐作業

確か、4年前の2月下旬、あの日は真冬日で寒かったが、どうにか間伐作業を終え、早めの夕食後に風呂に入り、何気なく自分の貧弱な体を見ていると腕や胸に張りがあり「あれー」声を上げた。この盛り上がりはきっと間伐作業で筋肉が付いたのだ。「やった〜」

少しでも昔の体に戻り、すごくうれしく、この日以来、この作業が好きになりました。

あの頃は一人一人がルールを守り、伐木から倒木処理まで行う。私も同様、教えられた方法で作業をしていました。ある厳冬の朝、手足が冷たく、体が冷え切っていたので、短い手鋸で太さ20cm強もある木に挑戦した事がありました。全身汗だらけになりながら、何回も何回も休みながら手鋸を一生懸命に挽きました。そして切り倒す前に、笛を吹き大声で「倒すぞー」と周囲に叫

ぶ、それから鋸を挽く「ギギードドロー」音を立てながら倒れるさまは何とも言えない。爽快感と充実感が体の中から沸き上がり私の心を揺さぶる。なぜか少年時代にもどったようだ。

今年は更なる安全、より以上の作業効率を考え数人のグループに班分けし、伐木から倒木処理(枝切及び集積)そして材の運搬を行っています。その為、未だ一回も手鋸で、あの頃のような木こり作業をしていないので、懐かしく、しかし、今の作業(倒木処理及び材運搬)はとても大事な作業ですので、手抜きする事なく一生懸命行っています。

最後に、受講手続き等を行って頂いた樞棒さん有難うございます又、酒井さん、市山さん及び幹事の皆様有難うございます。(文・藤原)



◆ 2017年森ボラ研修旅行のご案内

2017年度の研修旅行として、下記の通り計画をしておりますのでご案内致します。参加を考えている方は、4月の作業参加申込書にて申込み願います。



私たちはこれまで道南の奥尻島・黒松内などの森を見てきましたが、今年は、現在日本に残る最大のブナ帯であり、世界自然遺産にも登録されている青森県から秋田県に跨る「白神山地」の樹林を体感したいと思います。北海道のブナの森とはもう一つ違うブナの森が見られると思います。



日程：2017年10月9日(月)～13日(金)／4泊5日(フェリー：2泊、旅館：2泊)

- 概要：1日目 20：00 札幌駅集合(鐘の広場)→苫小牧(フェリーで八戸へ)
 2日目 07：30 八戸港着・八戸市内で朝食後、弘前経由 西目屋村へ(昼食)
 青森・秋田県境の岳代教育林見学→西目屋村白神館(宿泊)
 3日目 08：30 白神館→津軽峠 マザーツリー見学後トレッキング
 初級コース 津軽峠～高倉森を往復(4.4km 2.5時間)バスにて暗門へ
 中級コース 津軽峠から高倉森を経て暗門まで(5.6km 4時間)
 16：30 暗門アクアグリーンビレッジ出発→白神館(宿泊)
 4日目 09：30 白神館出発→三内丸山遺跡見学→八戸で夕食後フェリー乗船
 5日目 06：00 苫小牧港到着 バスにて札幌へ 8時過ぎ札幌駅到着、解散

費用 概算 3～3.5万円(1人)

募集人数 MAX：20名/今回の申込みで12名以下の場合中止とします。

申込締め切り 3月31日(森ボラ事務所到着分)



■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2017年4月、5月スケジュール・・・4月7日（金）定例幹事会 4月21日（金）臨時幹事会
2. 2017年度親子森林教室森スケジュール・・・4月から森しり隊18名（13家族）でスタート、
3/26最終教室（AM澄川でシラカンバ樹液採取他 PM駒岡保養センター終了式）
3. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・2016年度多面活動報告書
2017年度の活動対象地は澄川環境林と有明第二を申請
4. 札幌市環境部共生課への働きかけ・・・3/9面談（酒井、佐野、市山）
生物多様性さっぽろ応援宣言シートへの登録幹事会承認
5. 2017年度年間活動計画書・・・幹事会承認
6. 大雪山森林生態系保護地域ボランティア制度について・・・3/17説明会参加（酒井、矢澤）
7. プロジェクト別現場リーダー制度の進め方・・・新プロジェクトは5グループ（1G4名編成）で
5月から現場対応。日報の取り纏めは4月から市山さんへ。樫棒さん2年間取り纏め有難うござい
ました
8. 冬季セミナーの3月開催の件
3/15・・・手稲里川探検隊 鈴木玲氏 会員例会・・・親子森林教室
9. 委員会報
研修旅行の件（10/9～13）・・・参加希望者は4月作業参加申込書で応募の事
10. その他
 - ・札幌大学 学校林支援に付いて・・・3/14大学側と面談（酒井）
 - ・第1回理事会5月10日（水）15:00～15:30 Lプラザ 2F ミーティングルーム
 - ・第15期総会 5月10日（水）15:30～16:30 Lプラザ 2F 環境研修室1,2
 - ・2017年2月会計報告

お知らせ

★2017年度北海道森林ボランティア協会年会費ご請求させていただきます★
郵便局払込取扱票にてご納入をお願いします

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
2月17日（金）	澄川	16	管理地雪掻き・E-1間伐、集材・林内歩道雪踏み
2月19日（日）	澄川	14	親子森林教室（冬芽観察、間伐見学）・間伐、集材
2月21日（火）	澄川	17	E-1ニセアカ間伐、集材・澄南3年マイツリー観察
2月23日（木）	澄川	18	E-1ニセアカ巻枯らし・間伐、集材
2月27日（月）	澄川・紅桜公園	21	整理伐（E-1,3）・澄川南小2年生冬芽観察
3月3日（金）	ラルズビル	13	定例幹事会
3月6日（月）	澄川	20	E-3整理伐・E-1ニセアカ巻枯らし
3月8日（水）	澄川	13	E-1間伐木の処理（ウインチ）・木製カンジキ修理
3月14日（火）	澄川	20	E-3整理間伐、集材・イタヤ樹液採取・掛かり木処理